

## 「金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナー」を開催

2014年1月9日

1月9日（木）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、スペイン・カタルーニャ州立癌予知個別化医療研究所グループリーダー 横田 淳先生を迎え、「がんゲノム研究の始まりと今」と題して、金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナーを開催しました。

セミナーでは、先生のご研究の歴史とともに、がん遺伝子、がん抑制遺伝子の発見にまつわる話、そして、肺がんの多段階発がん、最先端の肺がんのゲノム異常の発見、さらには肺がんリスクに関わる多型解析の最新の成果、と広範な内容を大変わかりやすく講演していただきました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われ、とても有意義な講演会でした。



# 演題：がんゲノム研究の始まりと今

## 講演者：

スペイン・カタルーニャ州立癌予知個別化医療研究所  
グループリーダー

**横田 淳 先生**

Jun Yokota, M.D., Ph.D.

Senior Group Leader

Genomics and Epigenomics of Cancer Prediction Program

Institute of Predictive and Personalized Medicine of Cancer (IMPPC)

日時：平成26年1月9日（木）17:00～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

1980年代初頭のヒトがん遺伝子発見を契機にヒトがん発生・進展機構の解析がゲノムレベルで展開し、約30年が経過しました。今では、様々な癌種でその結果を診断・治療、さらには予防にまで応用する試みが行われています。横田先生はこの間、肺がんを中心にがんゲノムの研究を行ってこられました。今回は、これまでの研究の流れを振り返るとともに、新しい肺がんの治療法・予防法の開発に向けた最新の研究成果を紹介していただきます。

皆様、奮ってご参加ください。